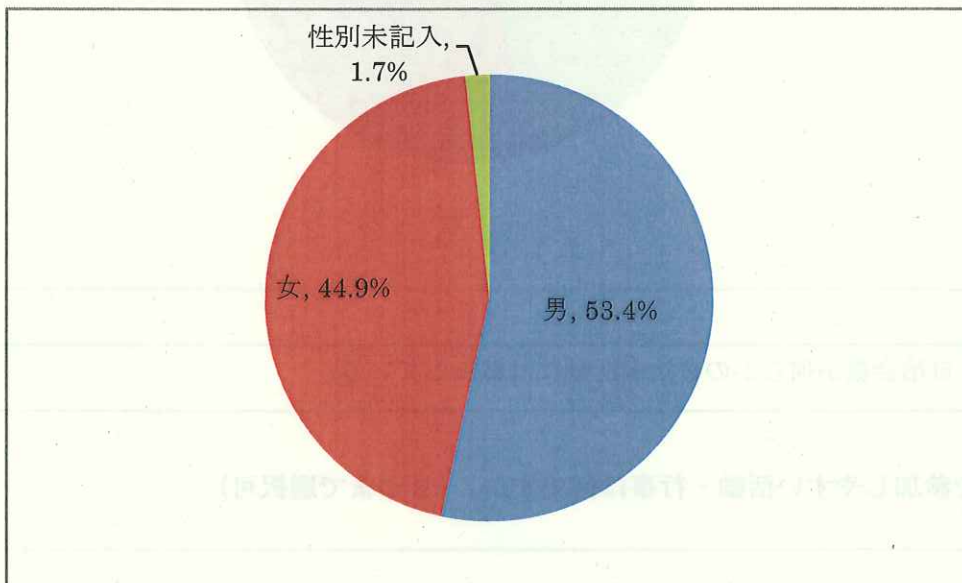


自治会に関するアンケート調査2 結果 (対象:自治会員1510人)

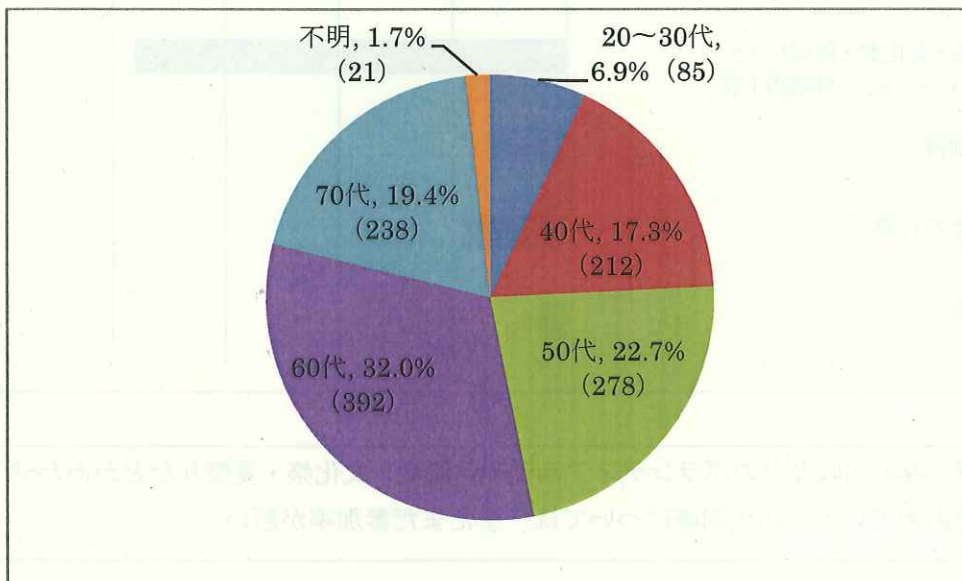
アンケート調査2

アンケート配布数	1510件 (313自治会)
〃 回収数	1226件
〃 回収率	81.2%

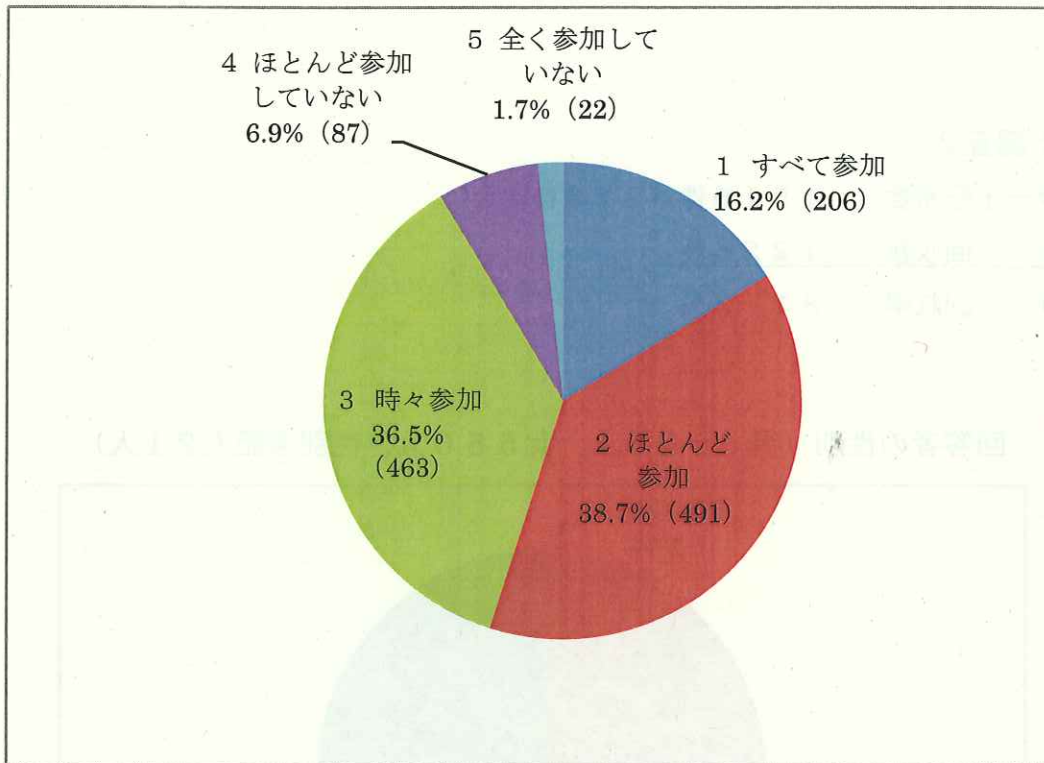
回答者の性別 (男:655人、女550人、性別未記入21人)



回答者の年代別構成区分

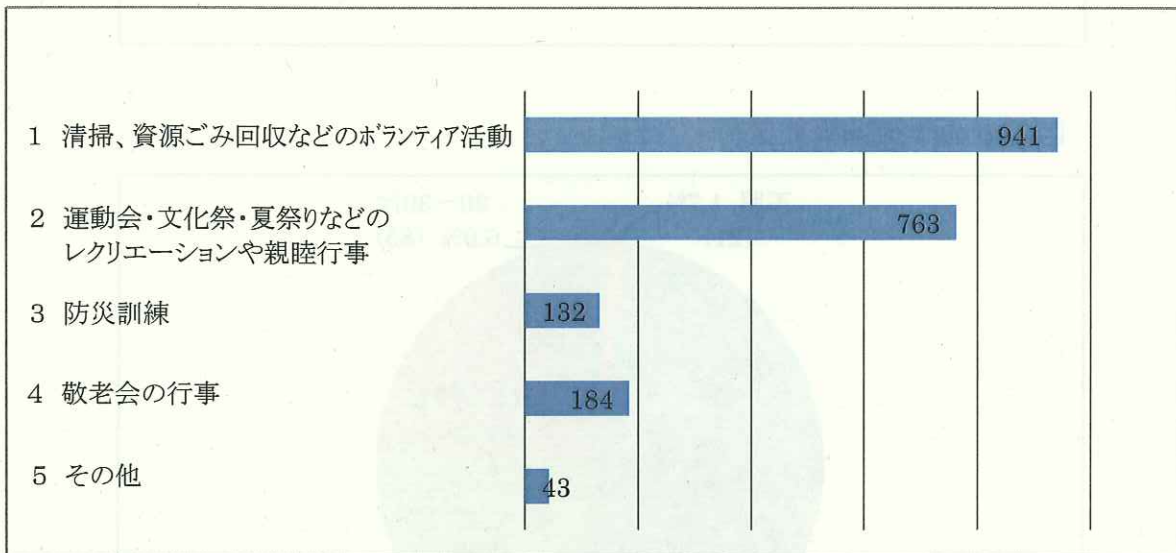


問1 自治会活動に参加をされていますか。当てはまる項目に○をつけてください。



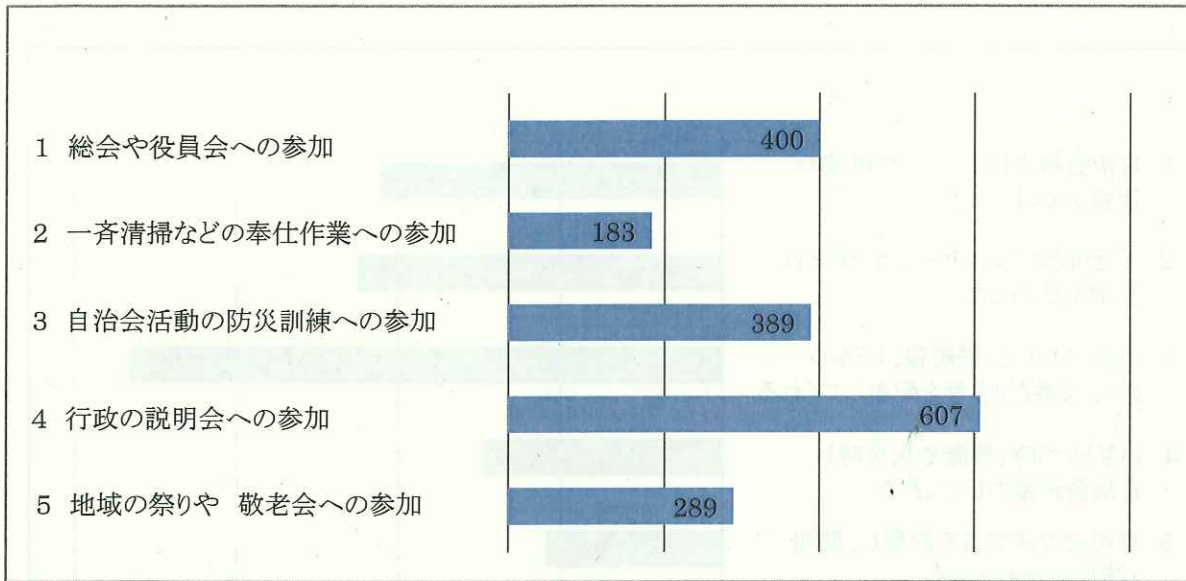
90%以上の自治会員が何らかの自治会活動には参加している。

問2 自治会で参加しやすい活動・行事は何ですか。(2つまで選択可)



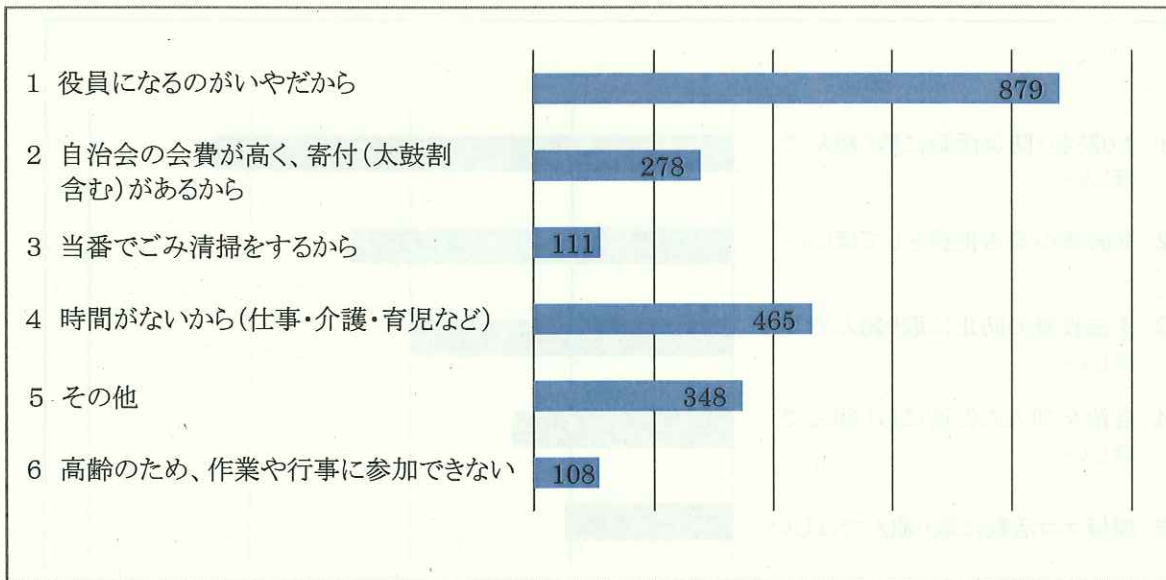
清掃・資源ごみの回収などのボランティア活動や運動会・文化祭・夏祭りなどがあわせて 1704 件とほとんどを占めている。防災訓練については、まだまだ参加率が悪い。

**問3** 自治会で参加しにくい活動・行事は何ですか。(2つまで選択可)



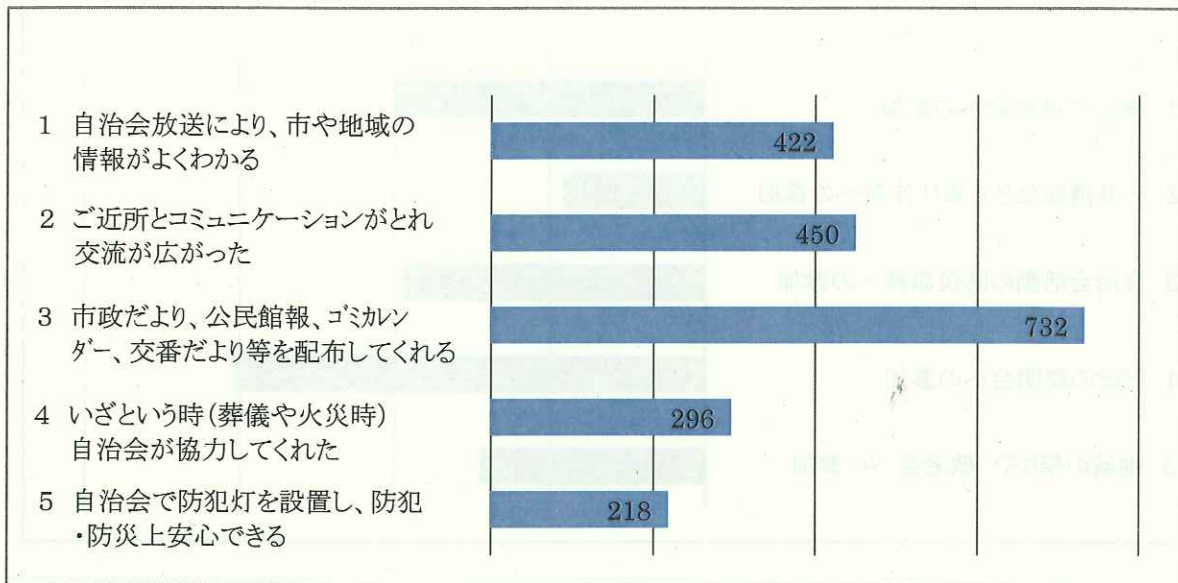
行政の説明会、総会や役員会などの会合へは参加しにくいという結果（計 1007 件）が出ている。（問2と同じく、比較的清掃などのボランティアやお祭りなどには、参加しやすい結果となっている。）

**問4** 自治会に加入されていない方の参加されていない理由は何だと思えますか。(2つまで選択可)



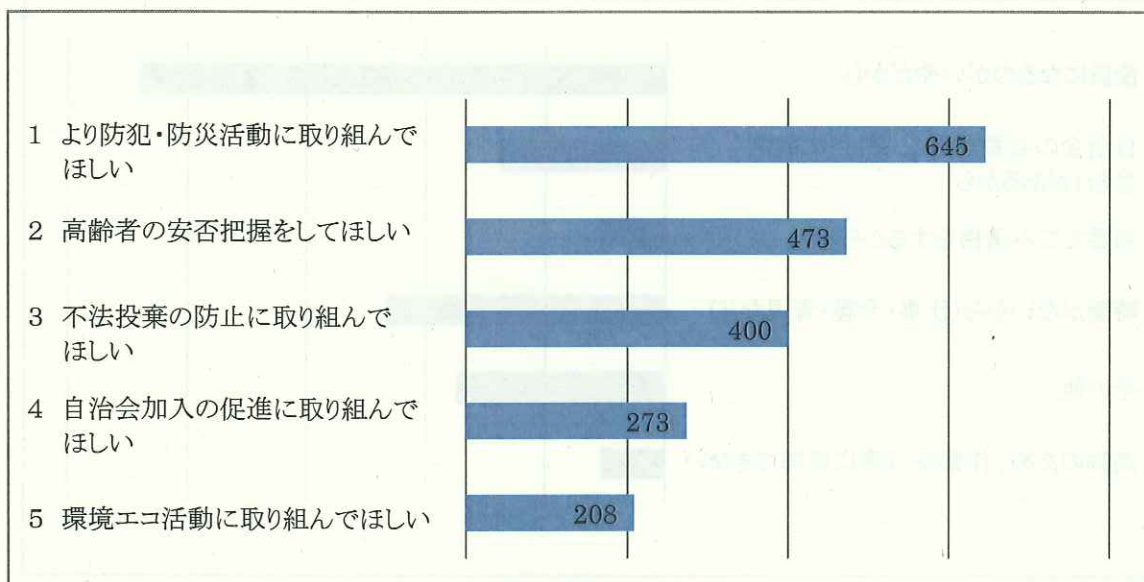
現自治会員は、「役員になりたくない」ことを自治会に加入しない1番の理由として考えている。次に、「時間がない」という答えが多い。

問5 自治会に加入していてよかったと思うことは何ですか。(2つまで選択可)



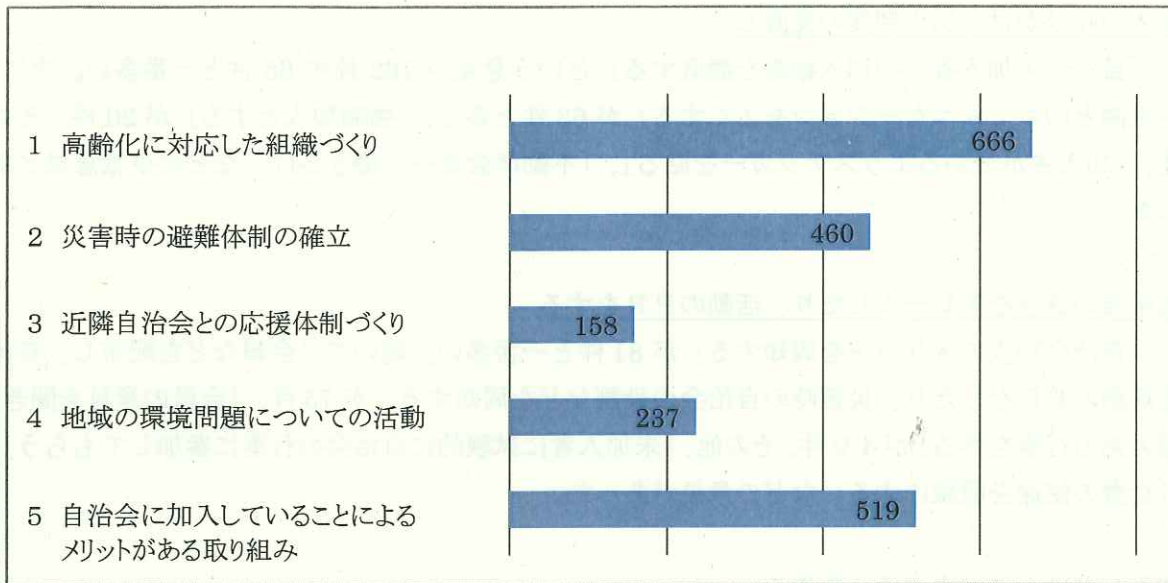
市政だより、公民館報、交番だより等多くの情報が手に入ることを選択した会員が 732 人と 1 番多い。次に、ご近所とコミュニケーションがとれ交流が広がったが 450 人と続く。

問6 自治会がより取り組んだらよいと思う活動は何ですか。(2つまで選択可)



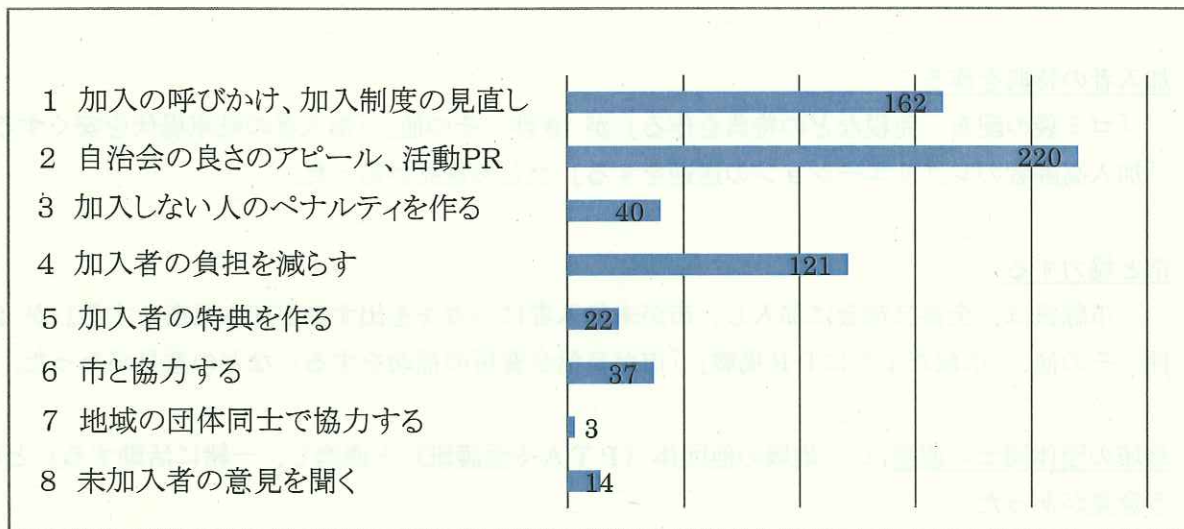
問3の参加しにくい自治会活動として、「防災訓練」を選ぶ人が多かったが、取り組みを強化したらよい活動でも「防犯・防災訓練」を希望する自治会員が一番多い。二番目に高齢者の安否把握となっている。自分達の生活に直接関係のある活動を希望する会員が多いことがわかる。

問7 これからの自治会活動のあり方はどれだと思いますか。(2つまで選択可)



高齢者に対応した組織づくりを選択した人が 666 人と一番多い。次に、自治会に加入していることによるメリットがある取り組みをすべきと考える人が 519 人と続く。逆に、近隣自治会との応援体制や環境問題についての活動は、希望者があまりいない。

問8 自治会未加入者に加入してもらうためにはどういったことに取り組んだらよいと思いますか。箇条書きでご記入ください。



一番多い意見は、「自治会の良さのアピール、活動のPR」で、220人。二番目には、「加入の呼びかけ、加入制度の見直し」が多く、162人となっている。次に「加入者の負担を減らす」が121人と続く。

## 問8の内容

1 加入の呼びかけ、加入制度の見直し

「自治会未加入者への加入勧誘を徹底する」という意見が162件中65件と一番多い。次に、「近隣とのコミュニケーションをよくする」が63件と多く、「強制加入とする」が20件。その他、「加入者が分かるようステッカーを貼る」、「不動産会社への働きかけ」などの少数意見があった。

2 自治会の良さをアピールしたり、活動のPRをする

「自治会加入のメリットを周知する」が81件と一番多い。続いて「会報などを配布し、自治会活動のPRをしたり、災害時の自治会の役割などを周知する」が75件、「会員の意見を聞き、魅力ある行事を作る」が40件、その他、「未加入者に試験的に自治会の行事に参加してもらう」、「会費の使途を明確にする」などの意見があった。

3 加入しない人にペナルティを作る

「未加入者のごみステーションの使用を禁止する・市政だよりを配布しない」が37件、「負担金（罰則）をかける」などの意見があった。

4 加入者の負担を減らす

「役員の負担を減らす（配布物の厳選など）」が40件、「会費（入会金、太鼓の寄付含む）を安くする」が26件、「役員選出方法の見直し（当番制の廃止、高齢者免除）」が20件。その中で、「自治会運営や未加入者に加入してもらうためにどう取り組んだらよいかわからない」という意見もあった。

5 加入者の特典を作る

「ゴミ袋の配布、免税などの特典を作る」が19件、その他、「加入者の駐車場代を安くする」「加入高齢者のレクリエーションの送迎をする」などの意見があった。

6 市と協力する

「市職員は、全員自治会に加入し、市が未加入者にハガキを出すなど加入促進をする」が21件、その他、「市政だよりにPR掲載」「市が自治会費用の補助をする」などの意見があった。

7 地域の団体同士の連携は、「地域の他団体（PTAや愛護班）と連携し、一緒に活動する」という意見があった。8 未加入者の意見を聞くは、「未加入者へアンケートなどを実施し、自治会に加入しない理由やどのような条件であれば加入するかなどの意見を聞く」という意見があった。